

防災安全部より

第2回命を守る訓練を実施しました！

【避難用滑り台や避難袋を使用した訓練】

10月6日（木）と13日（木）に、非常変災時に2階にいる状態で階段による避難が困難である場面を想定して、「避難用滑り台」や「避難袋」を使用した訓練を実施しました。今回は、初めて避難用滑り台や避難袋を経験する児童生徒がたくさんいたため、密を避け2日に分けて訓練を行いました。

当日の訓練までに、避難用滑り台や避難袋を安全に使用することができるよう、各クラスで使用方法の写真や動画を見て確認をしました。

避難用滑り台は小学部と中学部を中心に行いました。最初に滑る教師の手本を見た後、児童生徒は順番に間隔をとって安全に避難できるように滑りました。学校や公園にある滑り台よりも長くて、緊張気味の児童生徒の姿も見られましたが、教師のアドバイスをよく聞いて上手に滑ることができました。

避難袋は高等部の生徒が行いました。約10mの高さから垂直に降下するため、初めはみんな緊張した様子でした。無事に下りると「怖くなかった！」とホッとして、安心した表情が見られました。実際に使用することがあった場合でも、怖がらずスムーズに避難できると思います。



今回も前回と同様、「自分の命は自分で守る」行動ができるように訓練を行いました。日頃から、防災・減災意識を高め、児童生徒が主体的に考えて行動できるようにしていきます。